

ミリキタニの猫

監督・撮影・編集・製作/リンダ・ハッテンドーフ
 撮影・製作/マサ・ヨシカワ
 出演/ジミー・ミリキタニ、ジャニス・ミリキタニ、ロジャー・シモムラ
 上映時間/1時間14分 アメリカ映画
 ■ユーロスペースほかにて9月8日より公開

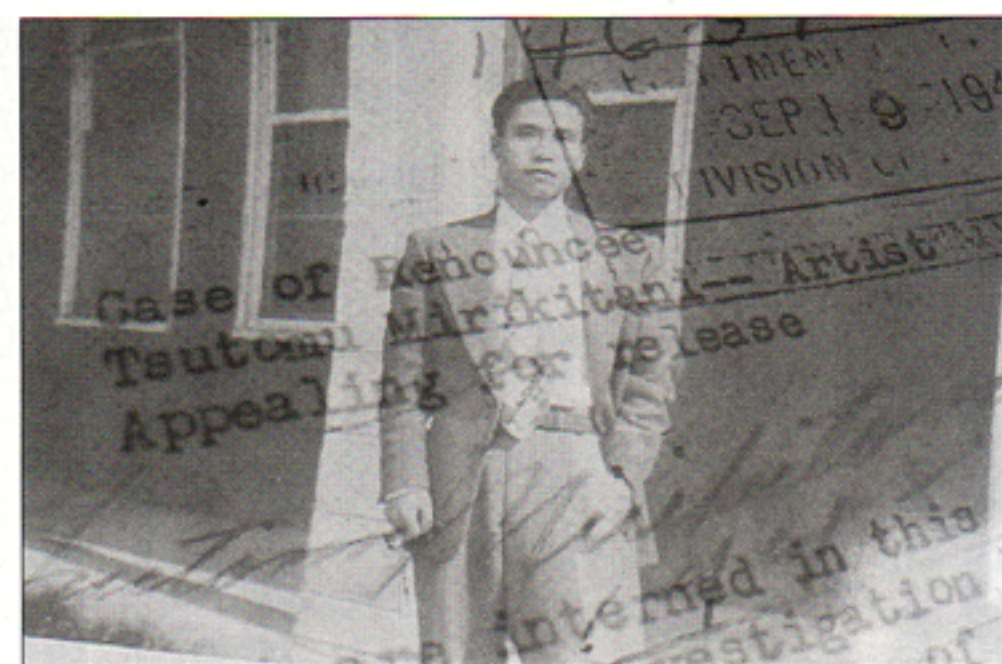
路上画家の数奇な人生と希望の光



冬

のニューヨークの路上で、絵を描く老人がいる。極度に猫背で、ぶつぶつ呟く英語はかなりブロークンで聞き取りにくい。何枚も服を重ね着している彼は、このダウンタウンで路上生活し、絵を売って小銭を稼いでいる。

ジミー・ミリキタニと名乗るこの老人に、リンダ・ハッテンドーフがコーヒーを差し入れようとすると、ジミーは「そのデリの韓国人店主は親切な男だから、ジミーのためだ」と言えば安くしてくれる。必ず「ジミーのため」と言ってくれ」と、念を押す。長らくドキュメンタリーの編集に携わってきたリンダは、時おりジミーを訪ね、この孤高の老人の日常をカメラに収めていた。



COMING SOON

恋とスフレと娘とわたし

主演:ダイアン・キートン

若くして夫を亡くし、娘3人を育て上げたダフネは、ひとりだけ独身の三女を素敵なエリート男性と結婚させるべく大奮闘。母と娘の難しい関係をコメディ仕立てに物語り、今年61歳のダイアン・キートンが過干渉の母親を魅力たっぷりに演じる。9月1日より、シネスイッチ銀座、新宿武蔵野館ほかにて公開



©2006 Gold Circle Films,LLC All rights reserved.

私のちいさなピアニスト

主演:オム・ジョンファ

コミカルな役もシリアスな役も見事にこなす大女優に成長したオム・ジョンファが、成功の夢破れてピアノ教師になった女性を好演。すさんだ生活によって情緒不安定な7歳の少年の中に、彼女は天性の才能を見抜くが、彼の成長は辛い別れを意味していた……。8月25日より、シネカノン有楽町ほかにて公開



©2006 Sovik Venture Capital & DCG Plus All Rights Reserved.

婦人公論 鑑賞券プレゼント

ここに紹介した『ミリキタニの猫』の特別鑑賞券を30名にプレゼントします。ご希望の方は、ハガキに①住所、②氏名、③年齢、④郵便番号を明記し、下の応募券を貼付のうえ、8月31日までに〒104-8320 東京都中央区京橋2-8-7 中央公論新社・婦人公論シネマ係宛、ご応募ください。抽選のうえ、鑑賞券をお送りいたします。

ところが、出会いから8カ月ほど経った時点で、2人の関係は思いがけなく急接近、ドキュメンタリーの筋書きも急展開する。2001年9月11日、ジミーがいる路上からほど近い地点に建つ世界貿易センタービルが、テロにより倒壊。リンダは、ジミーの身を気遣い、ひとり暮らしの自分のアパートに招き入れる。

このドキュメンタリー作品は、ジミーを通して、日系アメリカ人が味わった辛苦やアメリカ社会の断片を伝えるものだが、観客は何よりもジミー自身の個性に引き込まれる。リンダが撮影を始めた当初はどこからみても「ホームレスの老人」だが、彼女と同居を始めると、こざっぱりとして、やがて姿勢までしゃんとしてくる。サムライ好きの彼は、居候の身ながら食事の好みなどでリンダを煩わせるものの、「嫁入り前の」彼

女が夜遅くまで帰ってこない、心配を募らせて父親のように叱責する。

自ら絵画の「グランド・マスター」と称するジミーは、猫の絵ばかりを描きつづける。その動機である、心の奥深くに刻まれた記憶は哀切に満ちている。一方で、リンダの尽力によって、数十年間も途切れていた血縁者や友人との再会を果たし、繰り返し描きつづけてきた収容所の跡地も再訪。アメリカによって打ち砕かれたジミーの人生は、アメリカの地で再び希望を与えられるのだ。その過程で、ジミーのアメリカ観も変化する。彼の数ある変化の中でも、この柔軟性が、ひととき感動を呼ぶ。

ひとつだけ気がかりなのは、日本人や日本に対して称賛を惜しまないジミーの気持ちだが、この作品の公開に合わせて数十年ぶりに来日することで、どう変化するのか、だ。ジミーの目に、現在の日本の姿は、どう映るだろうか。